

# 来年度へ向けて

## 平成30年度の府市の取組について

## 大阪を舞台に開発・実証の結果、市販化モデルに結びついた水素アプリケーションによるショーケース機能の維持発展

### 平成29年度：大阪府水素ショーケース推進事業〔5,000千円〕

#### 【開発経過等】 燃料電池フォークリフト（FCFL）の導入支援

水素社会の実現に向け、産業用車両であるフォークリフトの燃料電池化を実現するため、関西国際空港をフィールドに、実証事業を開始し、大阪府も協力（H26年度～H28年度）

実証をもとに開発が進められた結果、平成28年11月にFCFLの市販が開始

将来的なFCFLの普及を見据え、複数台同時の水素充填が可能な大規模産業車両用水素インフラを整備し、平成29年3月に完成



水素充填ディスペンサー



水素ガスヤード全景



燃料電池フォークリフト

出典：各社ホームページ

#### 【導入状況】

大阪での水素の利活用事例を広く発信する「ショーケース機能」を維持発展させる取組として、FCFLの普及を後押しする制度を今年度創設

この制度を活用し、府内の中小企業が関西国際空港島内にFCFLを2台導入（H30年2月）

関西国際空港島内では、今回導入された2台を含め、現在8台のFCFLが稼働中

### 平成30年度：水素利活用機器導入促進事業〔5,000千円〕

FCFL導入支援〔4,000千円〕

FCバス体験試乗会の実施〔1,000千円〕（再掲）

# 大阪市 水素関連事業 平成30年度予算案

平成30年度：大阪市水素プロジェクト創出事業〔委託料：5,000千円〕

